

第9章 港湾・空港

第1節 港 湾

1 港湾の概要

本県には、重要港湾が秋田港、船川港、能代港の3港、地方港湾が本荘港、戸賀港の2港、計5つの港湾があり、県は、港湾管理者として港湾整備や管理運営を行っています。

重要港湾の秋田港は、県内の物流の拠点港として内貿・外貿の物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備、船川港は男鹿地域の物流港としての整備、能代港は県北地域の物流港としての整備を進めています。

地方港湾の本荘港は海洋性レクリエーション基地としての機能拡充を図っています。

◆港湾・空港位置図



◆入港船舶及び海上出入貨物（平成14年）

（単位：隻・総トン・トン）

	入 港 船 舶		海 上 出 入 貨 物		
	隻 数	総トン数	合 計	出 貨	入 貨
秋 田 港	4,036	14,008,136	7,514,110	1,584,476	5,929,634
船 川 港	691	626,859	732,315	303,632	428,683
能 代 港	507	2,148,118	3,081,120	14,181	3,066,939
本 荘 港	40	8,108	16	0	16
戸 賀 港	758	22,040	269	0	269
計	6,059	16,813,261	11,327,830	1,902,289	9,425,541

フェリー含む

◆入港船舶総トン数別比較（平成14年）

	県 内 全 域 (秋田港・船川港・能代港・本荘港・戸賀港)			
	隻 数	%	総トン数	%
10,000総トン以上	516	8.5	11,400,283	67.8
6,000総トン以上	64	1.1	472,898	2.8
3,000総トン以上	626	10.3	2,637,713	15.7
1,000総トン以上	525	8.7	1,253,518	7.5
500総トン以上	602	9.9	490,664	2.9
100総トン以上	1,285	21.2	489,074	2.9
50総トン以上	2,441	40.3	69,111	0.4
計	6,059	100.0	16,813,261	100.0

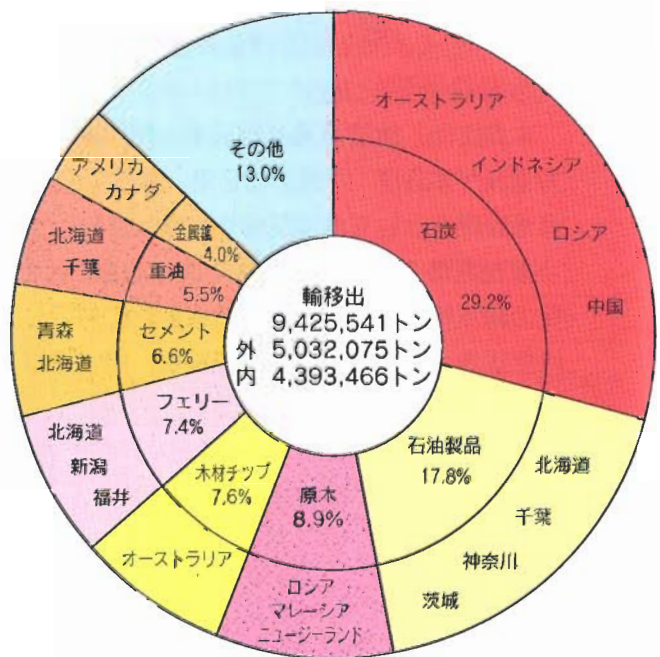
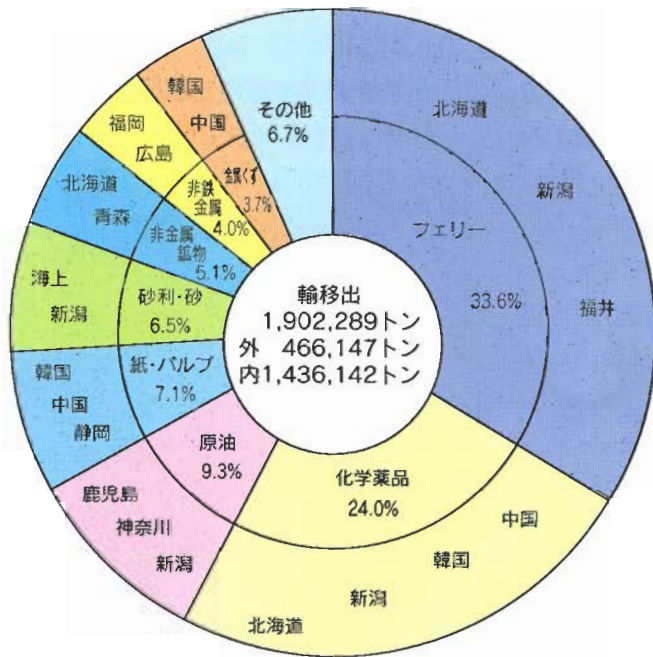
◆秋田港外貿コンテナ貨物取扱個数
(平成7年11月定期航路開設)

	輸 入	輸 出	計
平成7年	206	140	346
平成8年	1,775	4,936	6,711
平成9年	3,421	7,308	10,729
平成10年	3,007	6,533	9,540
平成11年	4,221	11,612	15,833
平成12年	4,980	12,928	17,908
平成13年	4,709	15,665	20,374
平成14年	5,915	17,217	23,132

20フィートコンテナ換算
(空コンテナを除く)

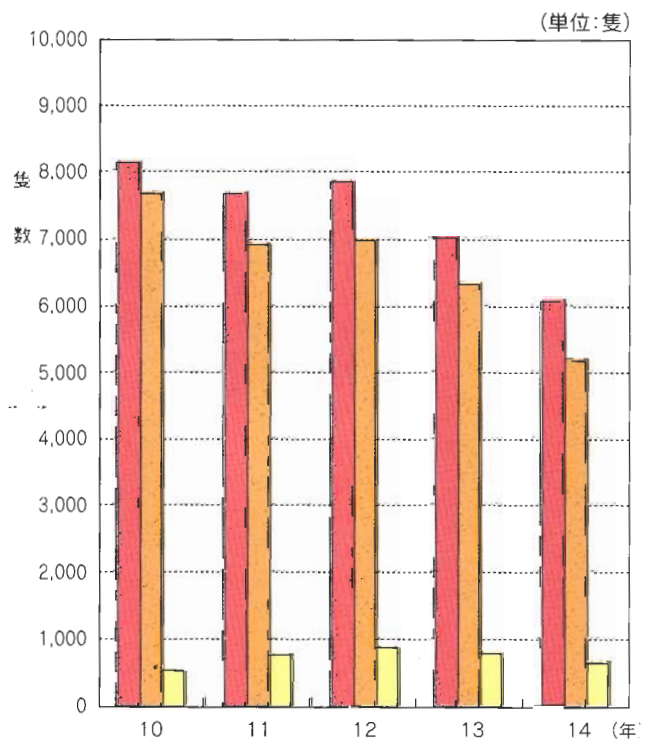
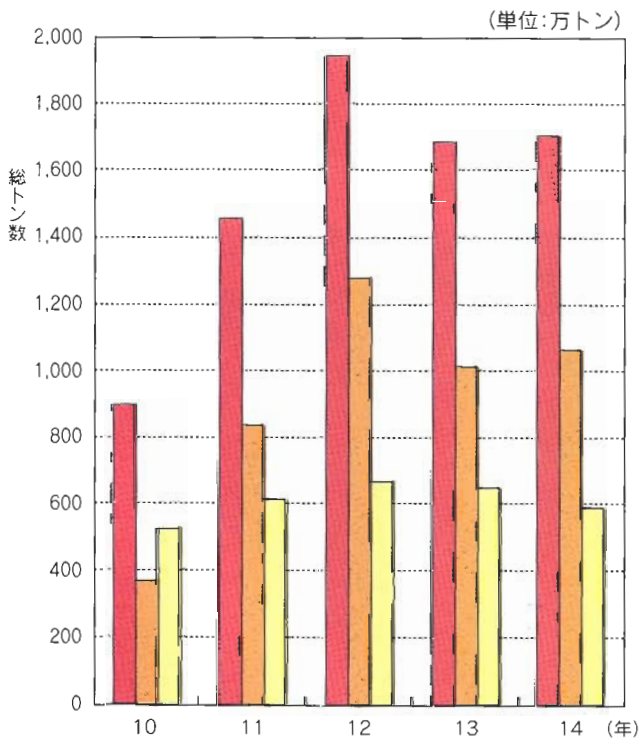
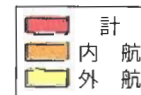
◆ 出入貨物別品種別比較(平成14年)

県内全港



◆ 入港船舶のうごき

県内全港



2 港湾事業

各港の整備方針と事業計画

[秋 田 港]

- ① 環日本海交流時代に向けて物流拠点港湾としての機能強化を図るため、外郭施設や水域施設の整備を促進します。
- ② 豊かで潤いのある港湾環境の形成を図ります。

[平成15年度主要事業]

港内静穏度を確保するための第二南防波堤や航行船舶の安全を確保するための泊地（-12m）の整備を進めるほか、橋りよの耐震強化、臨港道路や岸壁の改良等の事業を実施します。

また、潤いのある港湾環境を形成するため、「リスタで遊ぼう！花と緑の常緑遊園」事業を実施します。



秋田港全景

[船 川 港]

- ① 物流機能の強化を図るため、臨港交通施設の整備拡充を図ります。
- ② 海洋性レクリエーション基地としての機能の充実を図ります。

[平成15年度主要事業]

臨港道路生鼻崎線の4車線化及び緑地の整備を実施します。



船川港全景

[能代港]

県北部地域の物流基地としての機能強化を図るため、外郭施設や臨港交通施設の整備を推進します。

[平成15年度主要事業]

港内静穏度を確保するため第二北防波堤の整備を進めるほか、北防波堤の改良事業を実施します。



能代港全景

[本荘港]

海洋性レクリエーション基地としての機能の充実を図るため、小型船だまりの整備を推進します。

[平成15年度主要事業]

小型船だまりの物揚場・船揚場等の整備を実施します。



本荘港全景

3 海岸事業

秋田県内における港湾空港課が所管する海岸延長は、県全体（263.3km）の17.7%にあたる46.5kmですが、このうち27.0kmが津波、高潮、波浪等の被害から海岸を防護する海岸保全区域に指定されています。

海岸事業では、日本海特有の冬季風浪等から県土を防護する海岸侵食対策事業や、快適で魅力ある海岸空間を創出する海岸環境整備事業を推進します。

(1) 海岸侵食対策事業

海岸の侵食を防止するため、本荘港水林地区で離岸堤の整備を実施します。



秋田マリーナ

(2) 海岸環境整備事業

- ① 自然環境に配慮した親水空間を創出するとともに、海岸利用者や地域の人々の避難場所を確保するため、戸賀港塩戸地区で護岸及び遊歩道等の整備を実施します。
- ② 海浜における日常のレクリエーション需要に対応し、快適で魅力ある海岸空間を創出するため、本荘港田尻地区において遊歩道の飛砂防止対策工を実施します。



戸賀港全景

第2節 空 港

1 秋田空港の概要

本空港は、県都秋田市の南東25kmに位置し、面積約160ha、長さ2,500mの滑走路と計器着陸装置（ILS）などを備えています。また空港周辺は、600haの広大な県立公園として整備され、緑豊かな都市公園型空港となっています。

就航路線は、東京、大阪、札幌、名古屋、関西の5路線で、着実に県民の足として定着しています。また平成13年度には国際定期便（ソウル便）の就航を実現、平成14年には国際航空貨物取扱いも開始されるなど、さらに利便性の高い空港となっています。



秋田空港全景

◆空港施設の概要

設置者	国土交通大臣	場周道路	長/6,455m 巾/5.5m
管理者	秋田県	駐車場	39,276m ² (1,355台)
空港の名称	秋田空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田県河辺郡雄和町椿川	無線施設	ILS (計器着陸装置)・VOR/DME
空港の標点	北緯 39° 36' 56"		(超短波全方向性無線標識/距離測定装置)
	東経 140° 13' 07"	庁舎管制塔	一式
空港の標高	93.0m	通信施設	一式
空港の種別	第2種B級	気象施設	一式 (風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,588,900m ²	消防施設	40t水槽8基 (化学消防車2台・救急医療作業車1台)
着陸帯	長/2,620m 巾/300m	除雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長/2,500m 巾/60m	ターミナルビル	国内線棟3階建(10,995m ²)国際線棟(一部3階建3,471m ²)
誘導路	長/2,830m 巾/30~34m	貨物ビル	2棟
エプロン	長/310m 巾/190m (5バース)	給油施設	200kl/2基
配水施設	一式	燻蒸・焼却施設	一式

2 大館能代空港の概要

本空港は、県北部の鷹巣町に位置し、面積は約120haで、長さ2,000mの滑走路と計器着陸装置（ILS）などを備えています。

平成10年7月18日に開港し、就航路線は、東京、大阪の2路線となっています。また、空港周辺には緩衝緑地帯を活用した「ふれあい緑地」が整備され、センターハウス、クロスカントリースキーコース、展望台等の施設が利用できます（無料）。

◆空港施設の概要

設置者	秋田県	場周道路	長/5,417m 巾/5.5m
管理者	秋田県	駐車場	13,873m ² (386台)
空港の名称	大館能代空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田県北秋田郡鷹巣町	無線施設	ILS (計器着陸装置)・VOR/DME
空港の標点	北緯 40° 11' 31"		(超短波全方向性無線標識/距離測定装置)
	東経 140° 22' 18"	庁舎管制塔	一式
空港の標高	84.0m	通信施設	一式
空港の種別	第3種	気象施設	一式 (風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,214,240m ²	消防施設	40t水槽9基 (化学消防車1台)
着陸帯	長/2,120m 巾/300m	除雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長/2,000m 巾/45m	ターミナルビル	地上2階建一部3階建(4,089m ²)
誘導路	長/230m 巾/30m	貨物ビル	1棟
エプロン	長/225m 巾/110m (4バース)	給油施設	200kl/1基
配水施設	一式		



大館能代空港



センターハウス



ターミナル前広場



展望広場